

J-22 アバターを用いたコミュニケーションツールの開発

19番 永野 生美
21番 根本 淳也
26番 吉田 慎司
担当教員 小野 陽子

1. テーマ選定理由

近年，ブログやチャット，掲示板，オンラインゲームなどのコミュニティサイトにおいて，自分の分身として表示される“アバター（avatar）”が利用されている。

伝統的にインターネット上のコミュニケーションは文字だけで行われてきたが，アバターを使うことによって現実世界のコミュニケーションと同じように表情や豊かな表現が可能となった。このようなものに興味があったため，このテーマを選定した。

2. 研究概要

2.1 目的

様々な人との交流を深めることを目的とする。

2.2 開発環境

Xampp

Xampp とは Apache , MySQL , PHP , Perl の頭文字をつなげたもの。これらのアプリケーションをひとつにまとめ，簡単にインストール・アンインストールできるようにしたアプリケーションである。Xampp は全てオープンソースソフトウェアで構成され，無償で手軽に利用することができる。

2.3 対象者

コミュニティサイトに興味がある人

(Twitter やモバゲーのようなコミュニティサイトを参考とする)

2.4 概要

2.4.1 サイト構成

トップページ

ログイン画面

メインメニュー

プロフィール
アバター着せ替え

個人の掲示板（登録している人なら誰でも書き込める）

友達の状況観察（検索）

全体掲示板

入会（ログイン登録）

退会

図1. サイト構成

会員制のサービスで、ログインするためには会員登録が必要である。会員登録には、任意のID（ユニーク）とパスワード、ニックネーム、性別、生年月日、メールアドレスを入力する必要があり、登録を終えると仮登録完了のメールが届く。利用者にメールが届くことによりメールアドレスが照合したことを確認できる。メールの内容にあるURLをクリックすることにより登録完了する。ログインすると、プロフィール変更、アバター着せ替え、掲示板への書き込み、友達の検索が可能。

- ・プロフィール変更

身長、体重、趣味、出身地、血液型、自己紹介文（100文字以下）を入力及び変更ができる。また、詳細項目の表示／非表示の設定ができる。

- ・個人の掲示板

名前は登録したニックネームが使われる。発言は300文字まで。

- ・全体の掲示板

名前は登録したニックネームが使われる。会員は自分のアバターで発言される。発言は30文字まで。

- ・友達の状況観察（検索）

キーワードを入力すると、登録している人のニックネームや自己紹介文などの情報を元に、近い人がヒットする。ヒットした人をクリックするとその人のページに移動する。

非会員は友達検索が可能で、友達を見つけることにより当サービスへの興味をそそらせる。個人の掲示板は閲覧のみ可能で、全体の掲示板には書き込みも可能である。ただしアバターは選ぶことができない。

2.4.2 アバター

プロフィールでは全身を表示し、掲示板では証明写真風で表示する。着せ替えについて、性別は登録時に設定したものと変えることはできない。アバターの入手方法はログイン回数や発言回数、通報回数、時間による割り込みイベントなどを考えている。変更できる部位は以下の図の通りとする。

顔

髪

整形（目、まゆ毛、つけまつ毛）

服

上着

ズボン

靴（靴下含む）

アクセサリー

帽子など（ヘッドフォン含む）

めがね、マフラー類

手提げ、バッグなど

図2. アバター変更部位

3 . 研究計画

表1 9月までの研究計画 永野生美

時期		研究計画
8月	下旬	アバターの型を作成
9月	上旬	着せ替え用のイラスト作成
	下旬	↓

表2 9月までの研究計画 根本淳也

時期		研究計画
8月	下旬	PHPへの理解を深める
9月	上旬	PHPへの理解を更に深める
	下旬	ヘッダー及びフッターを作る

表3 9月までの研究計画 吉田慎司

時期		研究計画
8月	下旬	データベースの中身を見られるツールを作る
9月	上旬	ログインに関するプログラムを作成する
	下旬	↓

4 . その他

3人で作業するため、お互いの役割をしっかり確認する。また、お互いの進捗状況も把握しておく必要もある。